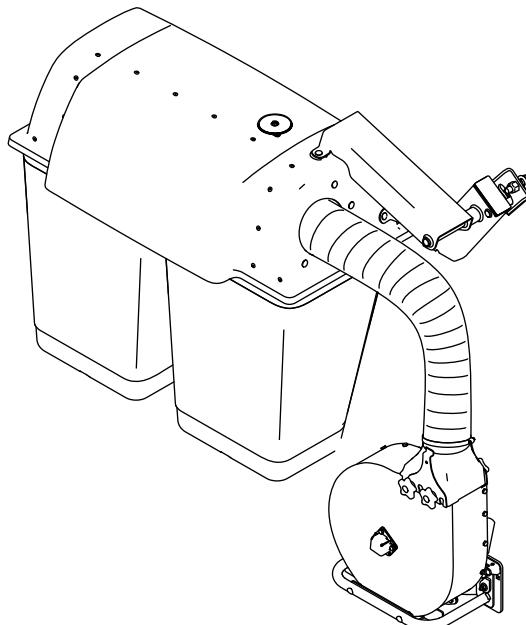


**TORO®**

**Count on it.**

オペレーターズマニュアル

**E-Z Vac™ ツインバガー**  
**2016 年以降の GrandStand® 芝刈機用**  
**モデル番号78570—シリアル番号 400000000 以上**

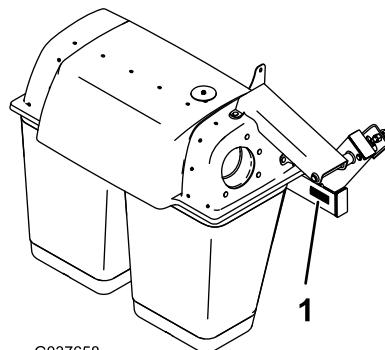


**注** このキットと同時に取り付けを必要とするキットがあります。  
必要となるキットについてはトロ社代理店にご連絡ください。  
より詳しい情報はこちら [www.toro.com](http://www.toro.com)。

この製品は、関連する全ての欧州指令に適合しています。詳細についてはこの冊子の末尾にあるDOI適合宣誓書をご覧ください。

## ⚠ 警告

カリフォルニア州  
第65号決議による警告  
米国カリフォルニア州では、この製品に、  
ガンや先天性異常などの原因となる化学物質が含まれているとされております。



G037658

g037658

図 2

1. バガーの銘板取り付け位置

モデル番号\_\_\_\_\_

シリアル番号\_\_\_\_\_

この説明書では、危険についての注意を促すための警告記号図3を使用しております。これらは死亡事故を含む重大な人身事故を防止するための注意ですから、必ずお守りください。



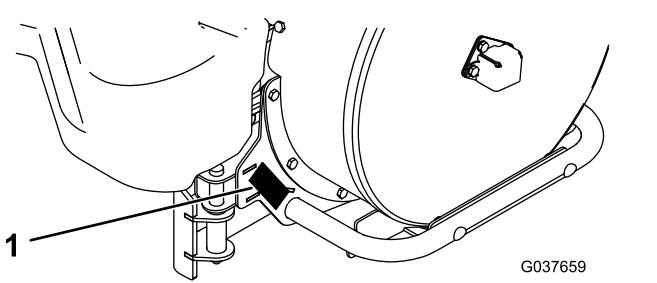
g000502

図 3

1. 危険警告記号

この他に2つの言葉で注意を促しています。重要は製品の構造などについての注意点を、注はその他の注意点を表しています。

## 目次



G037659

g037659

図 1

1. ブロアの銘板取り付け位置

モデル番号\_\_\_\_\_

シリアル番号\_\_\_\_\_

安全について .....	3
安全ラベルと指示ラベル .....	4
組み立て .....	6
1 マシンの準備を行う .....	7
2 E-Z Vac ブロア駆動キットを取り付ける .....	7
3 ブロアアセンブリ、ベルト、ベルトカバーを取り付ける .....	7
4 ブラケットを取り付ける .....	8
5 バガーフレームを取りつける .....	11
6 バッグを取り付ける .....	12
7 バガーチューブを取りつける .....	12
8 ウェイトを取り付ける .....	13
運転操作 .....	14
運転時の安全確保 .....	14
フローバッフルの位置調整を行う .....	15
集草インジケータの使い方 .....	15

集草バグにたまつ刈りかすを捨てる	15
バガーバグが詰まつた場合の対処	16
バガーバグの取り外し	16
移動走行を行うとき	16
ヒント	17
<b>保守</b>	<b>19</b>
推奨される定期整備作業	19
バガーバグとバグの清掃	19
バガーベルトの点検	19
バガーベルトの交換	19
バガーバグの点検	20
刈り込みブレードの点検	20
刈り込みブレードの取り付け	20
<b>保管</b>	<b>21</b>
<b>故障探究</b>	<b>22</b>

# 安全について

## ⚠ 警告

人身事故や電気系統の破損を防止するために以下の注意を厳守すること

- このアタッチメントを使用する前に、必ず刈り込み装置のオペレーターズマニュアルをよく読み、操作方法と安全上の注意を十分に理解する。
- エンジン作動中には絶対に、排出チューブや、バガーフードやシートを取り外さない。
- バガーバグが詰まつた場合には、かならずエンジンを停止し、機械の可動部がすべて完全に停止してから詰まりの解消作業に掛かる。
- 絶対に、エンジンを掛けたままで整備や修理を行わない。

## ⚠ 警告

バガーバグが作動中はプロアが回転するので、これに手が触れると大けがをする可能性がある。

- プロアの調整、清掃、修理、点検、およびシートの詰まりを取り除く前には、必ずエンジンを停止させ、機械の可動部がすべて完全に停止してから作業に掛かる。キーを抜き取る。
- シートやプロアチューブの詰まりの除去には必ず棒などを使用し、決して素手で行わない。
- 顔や手足や衣服を可動部に近づけないように十分注意し、カバーなどが付いていても過信しない。

## ⚠ 警告

刈りかす、木の枝などは燃える可能性がある。エンジン付近で火災が起こると人身事故や物損事故になる恐れがある。

- エンジンやマフラーの付近にごみを貯めないように注意すること。
- バガーバグのカバーを開く時に、内部のごみをエンジンやマフラーの上に落とさないように注意すること。
- 機械の格納はエンジンが十分に冷えてから行う。

以下の注意事項は、トロの芝刈り機を初めとする製品を安全に使用していただくために必ずお守りいただきたい事項です。

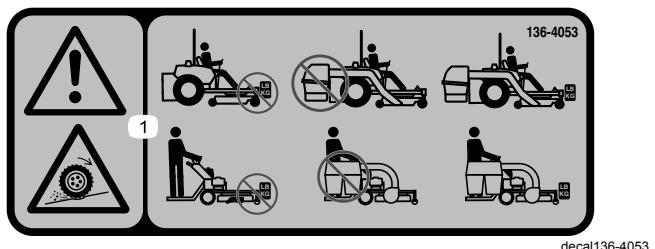
- 各部の操作方法や本機の正しい使用方法、警告表示などに十分慣れ、安全に運転できるようになります。

- ・ 集草袋などのアタッチメントを使用する際には、特別の注意が必要です。アタッチメントによってマシンの運転特性や安定性が変わることがありますからご注意ください。
- ・ ウェイトの増減については、機会本体のオペレーターズマニュアルを参照。
- ・ 急斜面ではバガーを使用しないこと。集草装置が重くなるとマシンを制御できなくなったり転倒したりする危険があります。
- ・ 斜面では必ず減速し安全に十分注意して運転してください。法面の刈り込みは横断しながら行ってください。ターフの状態は、マシンの安定性に大きな影響を与えます。段差の近くでの運転には特に注意してください。
- ・ 斜面では動作も運転操作もゆっくりと行うことが原則です。急旋回したり不意に速度や方向を変えたりしないでください。
- ・ 集草装置をとりつけることによって視界が制限される場合があります。バックする際には、安全に十分に注意してください。
- ・ トレーラやトラックに芝刈り機を積み降ろすときには安全に十分注意してください。
- ・ 絶対に、デフレクタを上げたまま、取り外したまま、あるいは改造したりして刈り込みをしないでください集草装置を使用するときは別。
- ・ 可動部に手足を近づけないよう注意してください。エンジンを駆動させたままで調整を行うのは避けてください。
- ・ どんな場合であれバッグを空にする時や詰まりを除去する時も含みます、運転位置を離れる時には、平らな場所に停車し、駆動装置を解除し、駐車ブレーキを掛け、エンジンを停止させてください。
- ・ 集草装置、デフレクタ、ガード類を取り付けない状態の運転は絶対にしないでください。
- ・ 集草バスケットを空にする時やシートの詰まりを除去する時には、エンジンを停止させてください。
- ・ 集草装置の中に、長期間にわたって刈かすを放置しないでください。
- ・ 集草装置の各部が消耗や劣化していくと、内部の可動部が露出したり、内部に吸い込まれたものが飛び出してきて当たる危険があります。各部を頻繁に点検し、必要に応じてメーカーが推奨する交換部品と交換するようにしてください。

## 安全ラベルと指示ラベル



危険な部分の近くには、見やすい位置に安全ラベルや指示ラベルを貼付しています。破損したりはがれたりした場合は新しいラベルを貼付してください。



136-4053

1. 警告走行できなくなる危険。カウンタバランスウェイトのみで運転しないこと。E-Z Vac のみを取り付けて状態で運転しないこと。必ず E-Z Vac とカウンタバランスウェイトの両方を取り付けて運転すること。



decal136-4087

### 136-4087

1. 警告 オペレーターズマニュアルを読むこと。
2. 警告 聴覚保護具を着用のこと。
3. 異物が飛び出す危険プロアを作動させる前に必ず集草装置全体を確実に取り付け、ラッチで固定すること。
4. インペラによる切傷や手足の切断の危険可動部に近づかないこと 使用時にはすべての安全カバー類を正しく取り付けておくこと。
5. インペラによる手足や指の切断の危険PTOを解除し、エンジンキーを抜き取り、各部が完全に停止するまで待つこと。
6. 警告走行できなくなる危険。カウンタバランスウェイトのみで運転しないこと。E-Z Vacのみを取り付けて状態で運転しないこと。必ず E-Z Vac とカウンタバランスウェイトの両方を取り付けて運転すること。

# 組み立て

## 付属部品

すべての部品がそろっているか、下の表で確認してください。

手順	内容	数量	用途
1	必要なパーツはありません。	-	マシンの準備を行います。
2	E-Z Vac ブロア駆動キット別売	1	E-Z Vac ブロア駆動キット別売を取り付けます。
3	プロアアセンブリプロアドライブキットより ベルトカバーブロアドライブキットより ベルトカバーブロアドライブキットより ベルトカバーブロアドライブキットより	1 1 1 1	プロアアセンブリ、ベルト、ベルトカバーを取り付けます。
4	前取り付けブラケット 下部マウントブラケット 後取り付けブラケット 右取り付けブラケット 平ワッシャ ボルト $\frac{3}{8}$ " x 4" キャリッジボルト $\frac{3}{8}$ " x 1" ナット $\frac{3}{8}$ " キャリッジボルト $\frac{1}{4}$ " x $\frac{5}{8}$ " ナット $\frac{1}{4}$ "	1 1 1 1 2 2 1 1 2 2	ブラケットを取り付けます。
5	バガーフレームアセンブリ クレビスピン ヘアピンコッター スラストワッシャ ナット $\frac{3}{8}$ " キャリッジボルト $\frac{3}{8}$ " x 1"	1 2 3 1 1 1	バガーフレームを取りつけます。
6	バッグ	2	バッグを取り付けます。
7	チューブ ホースクランプ プロアクランプ	1 1 2	バガーチューブを取りつけます。
8	ウェイト ボルト 長い U ボルト 52" デッキ付きの Multi ForceTMのみ ロックナット $\frac{1}{2}$ "	1 1 1 2	ウェイトを取り付けます。.

注 前後左右は運転位置からみた方向です。

# 1

## マシンの準備を行う

必要なパーツはありません。

### 手順

**注** ローラストライパーキットが装着されている場合には取り外しておいてください。

- PTO を解除し、走行コントロールレバーをニュートラルロック位置にセットし、駐車ブレーキを掛ける。
- エンジンを停止させ、キーを抜き取り、各部が完全に停止したのを確認してから運転位置を離れる。
- デッキの破損や曲がりをすべて修理し、なくなっている部品をすべて取り付ける。
- 機体をきれいに洗浄する。特に、取り付け位置となる機体後部に汚れないようにする。

# 2

## E-Z Vac ブロア駆動キットを取り付ける

### この作業に必要なパーツ

1	E-Z Vac ブロア駆動キット別売
---	--------------------

### 手順

キットの 取り付け要領書を参照。

# 3

## プロアアセンブリ、ベルト、ベルトカバーを取り付ける

### この作業に必要なパーツ

1	プロアアセンブリプロアドライブキットより
1	ベルトカバープロアドライブキットより
1	ベルトカバープロアドライブキットより
1	ベルトカバープロアドライブキットより

### 手順

- 刈り込みデッキを、一番低い設定位置まで降下させる。
- プロアアセンブリからプーリを取り外す図 4。

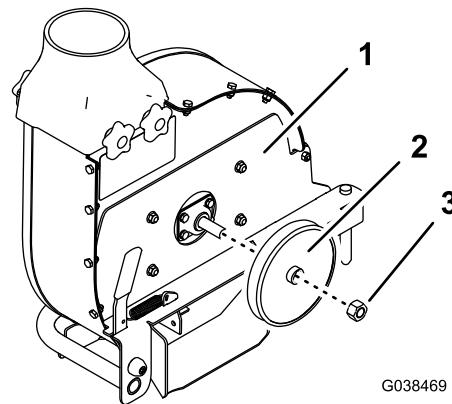
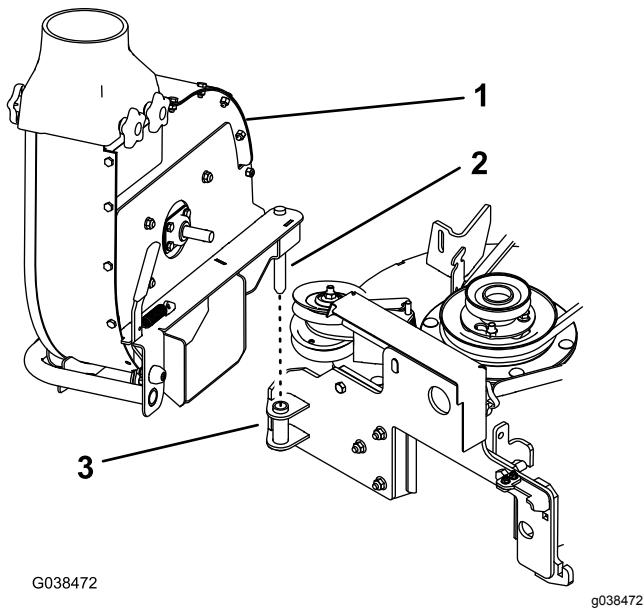


図 4

g038469

- |                       |          |
|-----------------------|----------|
| 1. プロアアセンブリ<br>2. プーリ | 3. 六角ナット |
|-----------------------|----------|
- 
- 図 5のように、プロアアセンブリからプロアの取り付けブラケットに、ピンを挿入する。

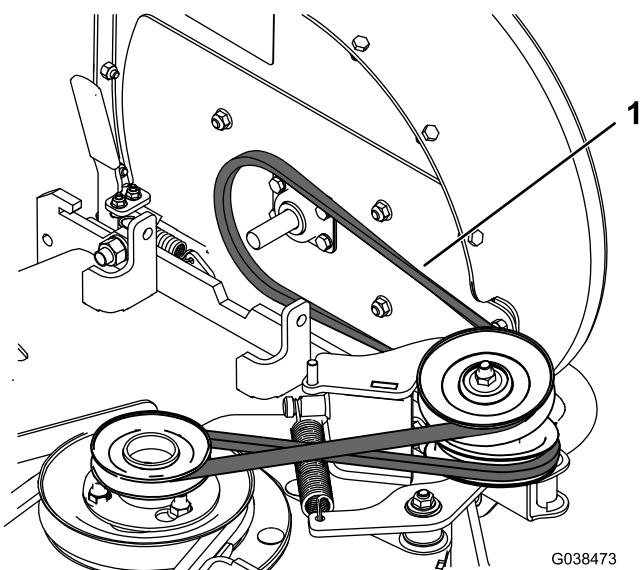


G038472

g038472

図 5

- 1. プロアアセンブリ
- 2. ピン
- 3. ここにピンを入れる。
- 4. 図 6 のように、ベルトをプーリとアイドラアセンブリに取り付ける。

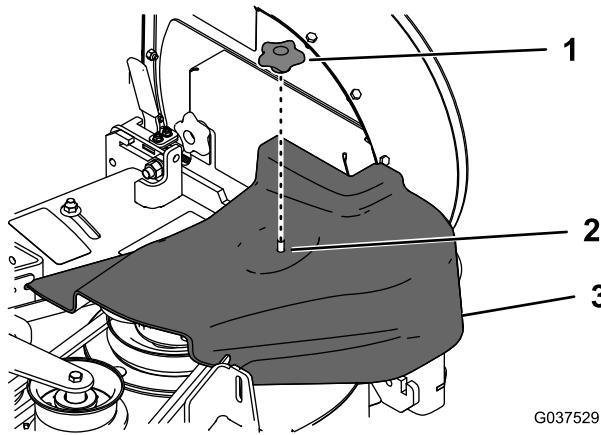


g038473

図 6

ベルトガードとプロアマウントは図示していない

- 1. ベルト
- 5. ステップ 2 で外したプーリを取り付けてベルトを掛ける。
- 6. ベルトカバーを取り付け、アイドラのねじにノブを締め付けて固定する図 7。



G037529

g037529

図 7

- |           |           |
|-----------|-----------|
| 1. ノブ     | 3. ベルトカバー |
| 2. アイドラねじ |           |
- 7. ブロアアセンブリを閉じて、ラッチがきちんと掛かるかどうか確認する。

**注** ブロアアセンブリを開ける時は、必ず最初にベルトカバーを開けてください。

## 4

### ブラケットを取り付ける

#### この作業に必要なパーツ

1	前取り付けブラケット
1	下部マウントブラケット
1	後取り付けブラケット
1	右取り付けブラケット
2	平ワッシャ
2	ボルト $\frac{3}{8}$ " x 4"
1	キャリッジボルト $\frac{3}{8}$ " x 1"
1	ナット $\frac{3}{8}$ "
2	キャリッジボルト $\frac{1}{4}$ " x $\frac{5}{8}$ "
2	ナット $\frac{1}{4}$ "

#### 手順

- 1. 燃料タンクを取り外す。車両のオペレーターズマニュアルを参照。
- 2. 機体の右側後部をジャッキアップして右タイヤに重量かからないようにする。
- 3. 右タイヤを外す図 8。

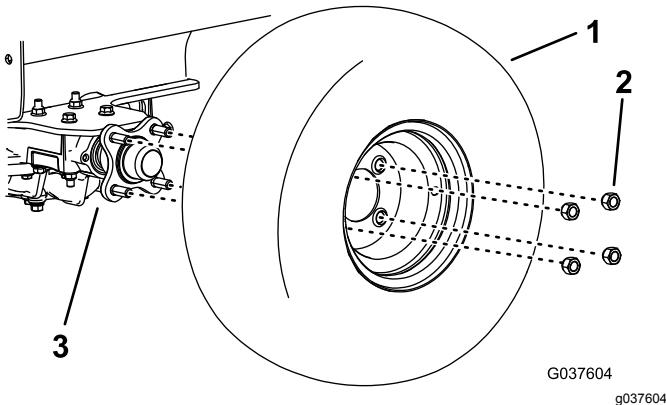


図 8

- 1. 右タイヤ
- 2. ラグナット
- 3. 右トランスアクスル
- 4. 運転台を上げる。
- 5. 右側右トランスアクスから、リアボルト2本とナット2個を外す図 9。ナットは捨てないこと。

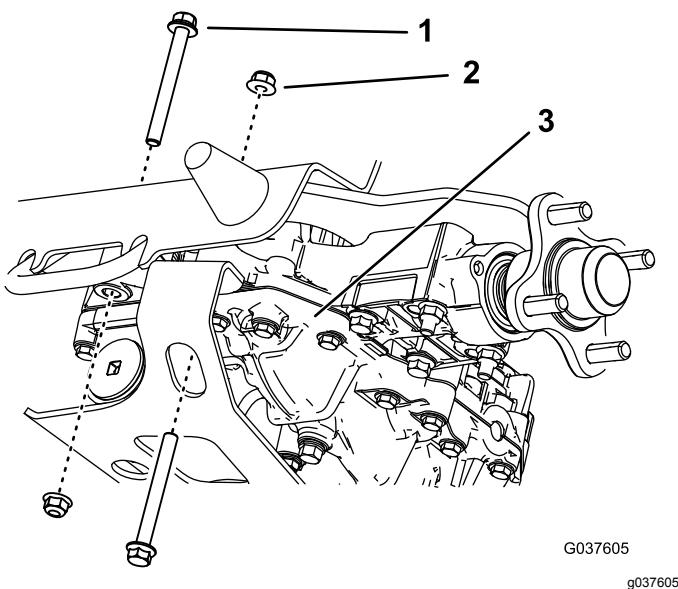


図 9

- 1. ボルト
- 2. ナット
- 3. 右トランスアクスル
- 6. 下側ブラケットをトランスマッisionに取り付ける先ほど外したナット2個、平ワッシャ2枚、ボルト $\frac{3}{8}$ " x 4"2本を使用して図 10 のように取り付ける。

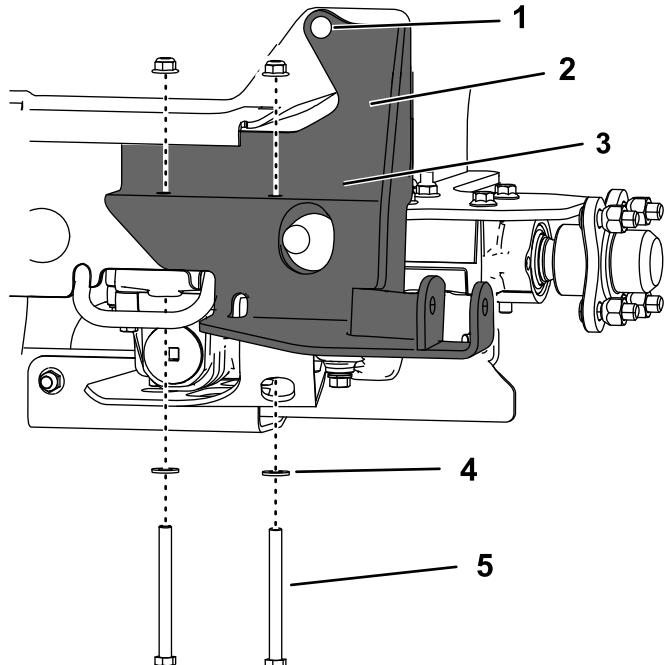


図 10

- 1. キャリッジボルト $\frac{3}{8}$ " x 1"とナット $\frac{3}{8}$ "
- 2. ナット
- 3. 下部マウントブラケット
- 4. 平ワッシャ
- 5. ボルト $\frac{3}{8}$ " x 4"
- 7. ブラケットの上部を固定するキャリッジボルト $\frac{3}{8}$ " x 1"1本と、ナット $\frac{3}{8}$ "1個を使用する。
- 8. ボルトは37-45 N·m3.7-4.6 kg.m = 27-33 ft-lbにトルク締めします。
- 9. 右側取り付けブラケットから前ボルト2本とナット2個を外し、右側タワー・パネルから前ボルト2本とナット2個を外す図 11。

**重要**ボルトやナットを外す際に、フレーム内側のファンシュラウドがトランスマッisionに落下しないように注意する。

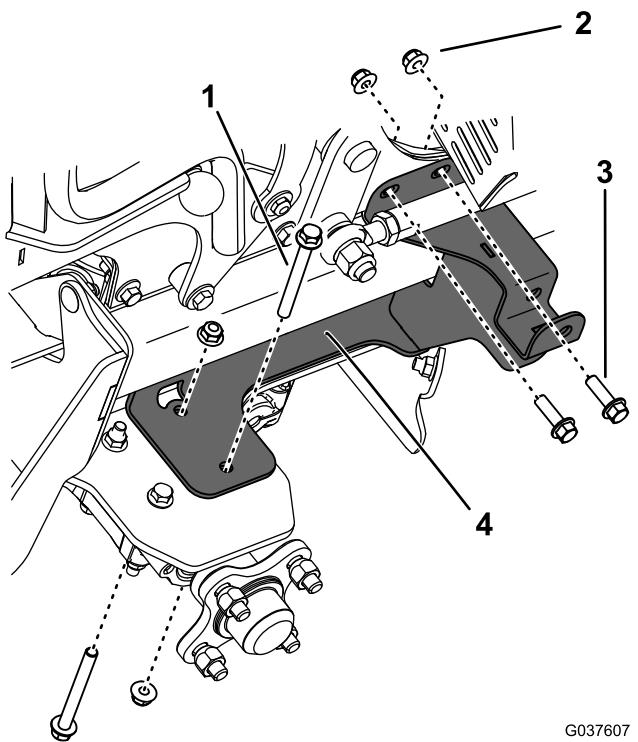


図 11

1. トランスミッションのボルト 3. タワーパネルのボルト  
2. ナット 4. 右側取り付けブラケット

G037607  
g037607

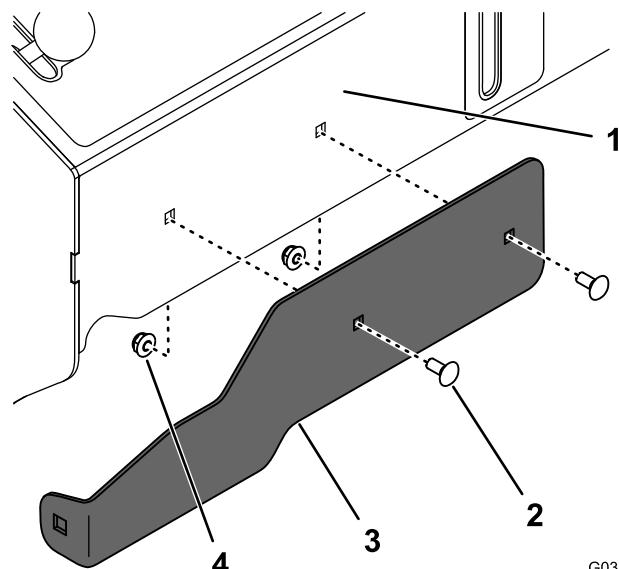


図 12

G037608  
g037608

1. コントロールタワーの前側 3. 前取り付けブラケット  
2. キャリッジボルト $\frac{1}{4}$ " x  $\frac{5}{8}$ " 4. ナット $\frac{1}{4}$ "

- 
12. 運転台を降ろす。  
13. 右タイヤを取り付け、ラグナットを 115-142 N·m  
 $11.8\text{-}14.5 \text{ kg.m} = 85\text{-}105 \text{ ft-lb}$  にトルク締めする  
図 8。

10. ステップ9で外したナットとボルトを使用して、右側取り付けブラケットとファンフラウドをフレームに固定する図 11。ボルトは 37-45 N·m $3.7\text{-}4.6 \text{ kg.m} = 27\text{-}33 \text{ ft-lb}$  にトルク締めします。  
11. コントロールタワーの前部に前側取り付けブラケットを仮止めするキャリッジボルト $\frac{1}{4}$ " x  $\frac{5}{8}$ " 2本と、ナット $\frac{1}{4}$ " 2本を使用して図 12のように取り付ける。

# 5

## バガーフレームを取りつける

この作業に必要なパーツ

1	バガーフレームアセンブリ
2	クレビスピニ
3	ヘアピンコッター
1	スラストワッシャ
1	ナット $\frac{3}{8}$ "
1	キャリッジボルト $\frac{3}{8}$ " x 1"

### 手順

- 誰かに手伝ってもらってバガーフレームを持ち上げ、フレームの後部下側を、下側取り付けブラケットに固定するクレビスピニとヘアピンコッターを使用する図 13。

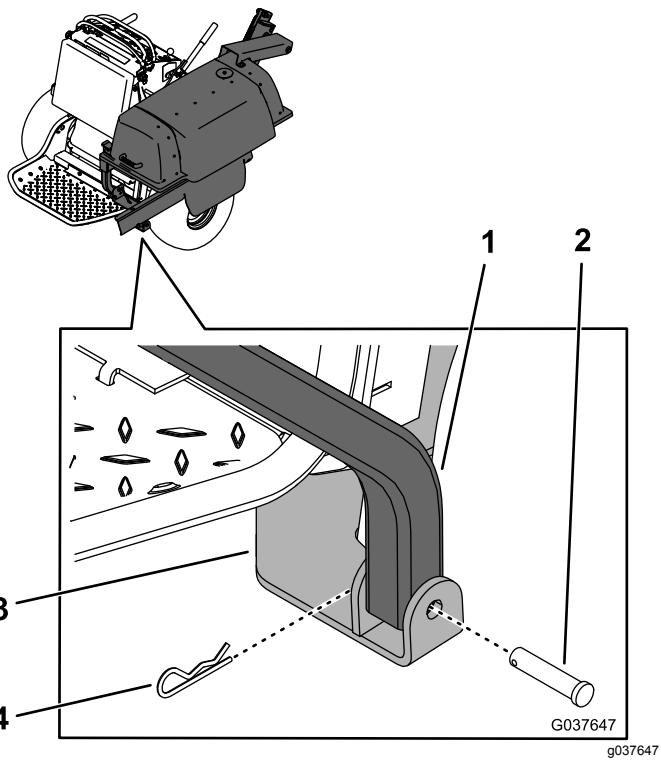


図 13

- 1. バガーフレーム
- 2. クレビスピニ
- 3. 下部マウントブラケット
- 4. ヘアピンコッター

- 後取り付けブラケットのピンにフレームを固定するスラストワッシャとヘアピンコッターを使用する図 14。

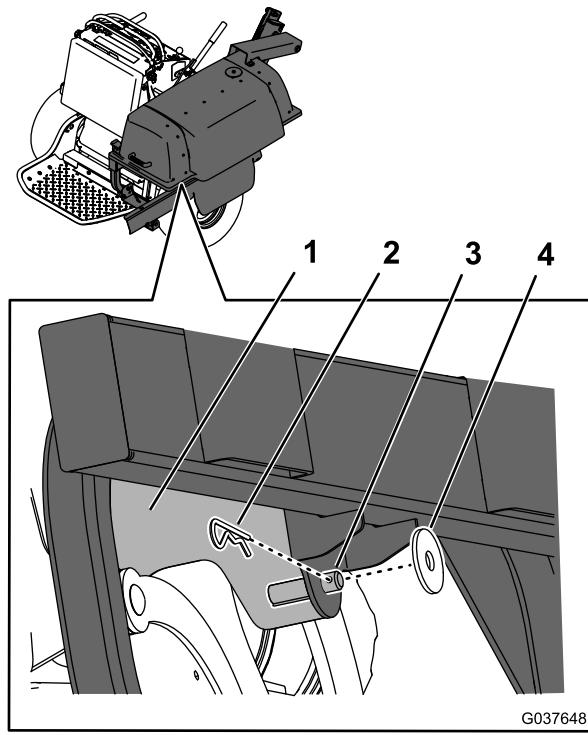


図 14

- 1. 後取り付けブラケット
  - 2. ヘアピンコッター
  - 3. ピンブラケットの一部
  - 4. スラストワッシャ
- バガーフレームの底部前側を、トランスマッisionの取り付けブラケットに固定するクレビスピニとヘアピンコッターを使用する図 15。.

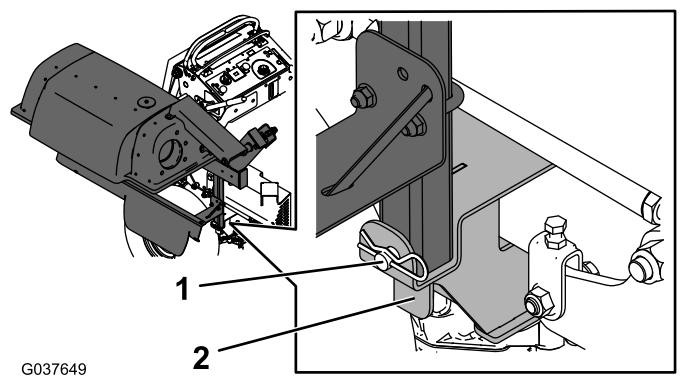


図 15

- 1. クレビスピニとヘアピンコッター取り付けた状態
- 2. トランスマッisionの取り付けブラケット

4. バガーフレームを、前取り付けブラケットに固定するキャリッジボルト $\frac{3}{8}$ " x 1"とナット $\frac{3}{8}$ "で図 16 のように取り付ける。.

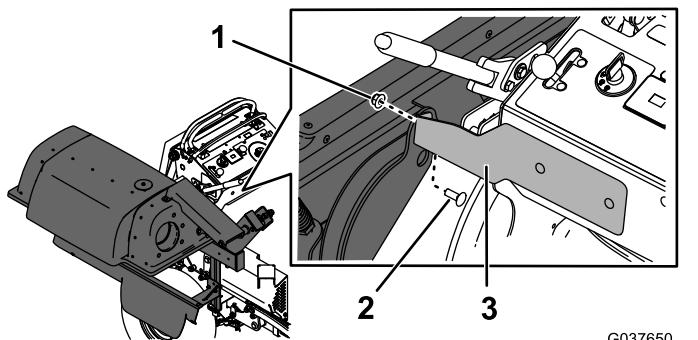


図 16

G037650  
g037650

1. ナット $\frac{3}{8}$ " 3. 前取り付けブラケット

2. キャリッジボルト $\frac{3}{8}$ " x 1"

5. バガーフレームと前側取り付けブラケットのナットを締めつける。

6. 燃料タンクを取り付ける。車両のオペレーターズマニュアルを参照。

**注** 燃料タンクブラケットを取り付ける時に、コントロールタワーと燃料タンクブラケットの間に、後取り付けブラケットを取り付けてください。

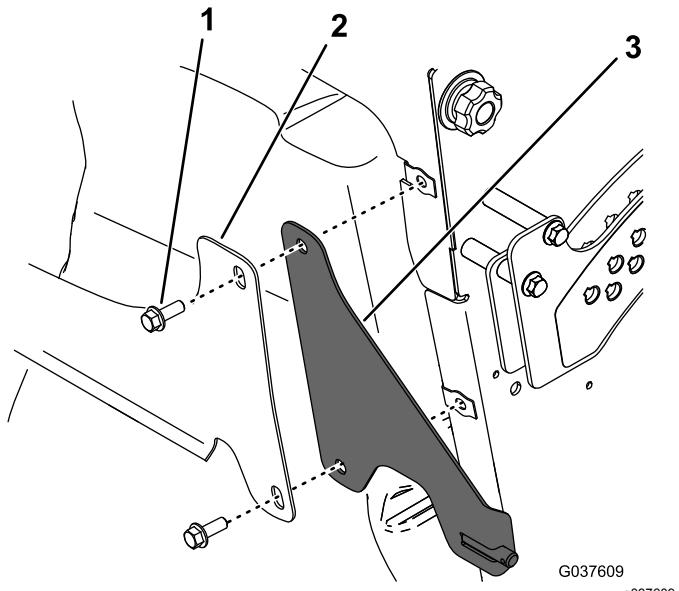


図 17

G037609  
g037609

1. ボルト 3. 後取り付けブラケット  
2. 燃料タンクのブラケット

7. クッションを上げる。

# 6

## バッグを取り付ける

この作業に必要なパーツ

2	バッグ
---	-----

### 手順

- ラッチを外してフードアセンブリを開ける。
- バッグマウントにバッグを取り付ける図 18。

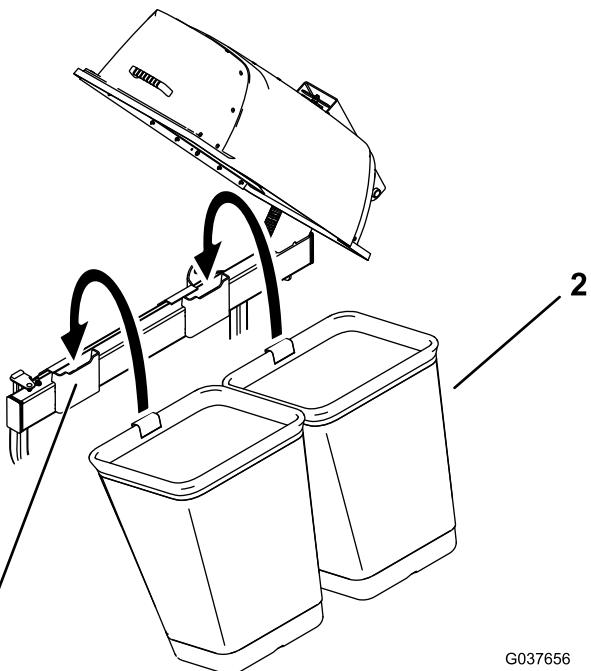


図 18

G037656  
g037656

1. バッグマウント 2. バッグ

3. フードアセンブリを閉じてラッチを掛ける。

# 7

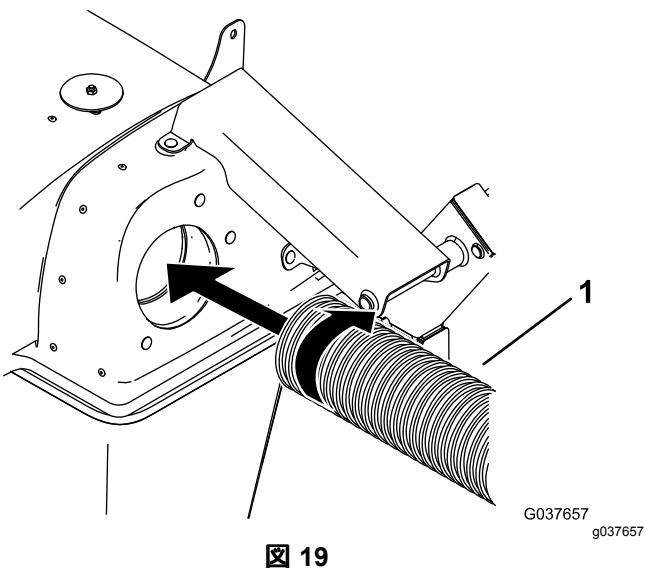
## バガーチューブを取りつける

この作業に必要なパーツ

1	チューブ
1	ホースクランプ
2	プロアクランプ

### 手順

- チューブの一端部を、フードにねじ込む。プロアからおよそ90度の曲がりが出来て固定されるまでねじ込むこと図19。



- チューブ

- チューブのもう一方の端部を、プロアアセンブリに固定するホースクランプ1個とプロアクランプ2個を使用する図20。

**注** ノブをゆるめてプロアクランプをノブの上までずらして、後ろのノブを一番後ろのスロットに入れ、ノブを締め付けます。ホースがプロアクランプとプロアアセンブリの間に入っていることを確認してください。

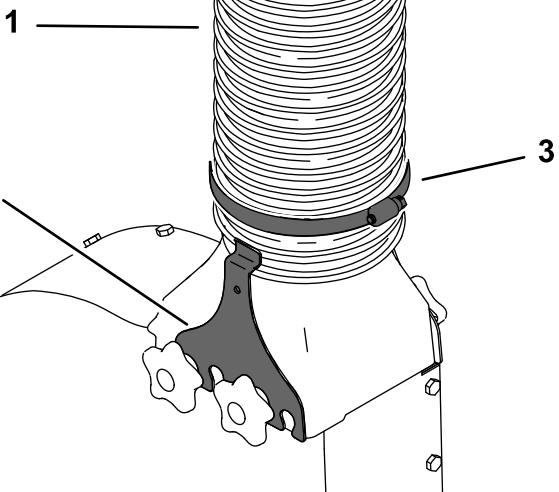


図 20

1. チューブ  
2. プロアクランプ2個  
3. ホースクランプ

# 8

## ウェイトを取り付ける

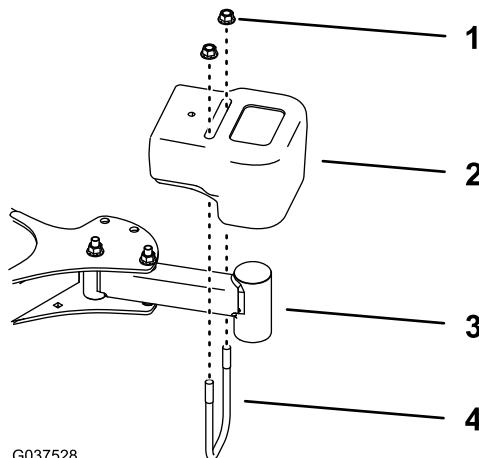
この作業に必要なパーツ

1	ウェイト
1	ボルト
1	長いUボルト52" デッキ付きのMulti Force™のみ
2	ロックナット $\frac{1}{2}$ "

### 手順

ウェイトを、左側キャスタに取り付けるUボルト、ロックナット $\frac{1}{2}$ "2個で図21のように取り付ける。

**注** 52" デッキ付きのマルチフォースには、長いUボルトを使用してください。ウェイトはフレーム上部に載せます図22。

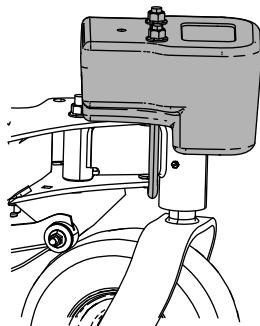


G037528

g037528

図 21

1. ロックナット $\frac{1}{2}"$ 2個  
2. 重量  
3. キャスタホイールは図示せ  
ず  
4. ボルト



g220332

図 22

# 運転操作

## 運転時の安全確保

- このアタッチメントを使用する前に、必ず刈り込み装置のオペレーターズマニュアルをよく読み、操作方法と安全上の注意を十分に理解してください。
- エンジン作動中には絶対にバガーやバガーチューブを取り外さない。
- バガーが詰まった場合には、かならずエンジンを停止し、機械の可動部がすべて完全に停止してから詰まりの解消作業に掛かる。
- 絶対に、エンジンを掛けたままで整備や修理を行わない。
- 駐車ブレーキを掛ける。

### ⚠ 警告

デフレクタ、バガーチューブ、あるいはバガーアセンブリを取り付けずに刈り込み作業を行うことは、自分自身や周囲の人間を回転刃やそれに飛ばされてくる異物の危険にさらす危険行為であることを理解する。回転刃やインペラに触れたり、回転刃に跳ね飛ばされたものに当たると大けがをしたり最悪の場合には死亡事故となる。

- バガーを取り外した場合には、必ずデフレクタを取り付け、側方排出モードにしてからマシンを使用する。
- デフレクタが万一破損しているのを発見した場合には直ちに交換すること。デフレクタは刈かなどの排出方向をターフに向けるための部品である。
- 機械の下には絶対に手足を差し入れないこと。
- 刈り込みデッキの排出部や刈り込みブレードの近くを清掃する時には必ずPTOを解除OFFし、エンジンのキーを抜き取る。また、キーを抜き取ったら、点火プラグの高圧コードも外しておく。
- プロアハウ징が詰まった場合にも、必ずエンジンを停止させてから詰まりの解消を行う。

### ⚠ 注意

置きっぱなしの機械を子供などがいたずらで運転すると大きな事故になる恐れがある。

機械から離れる時には、たとえ数分間であっても必ず駐車ブレーキを掛け、キーを抜き取る。

## フローバッフルの位置調整を行う

バッフルを集草用のC位置前位置に調整する。詳細については、マシンのオペレーターズマニュアル参照。

バッフルがプロアハウジングに接触していないことを確認する。

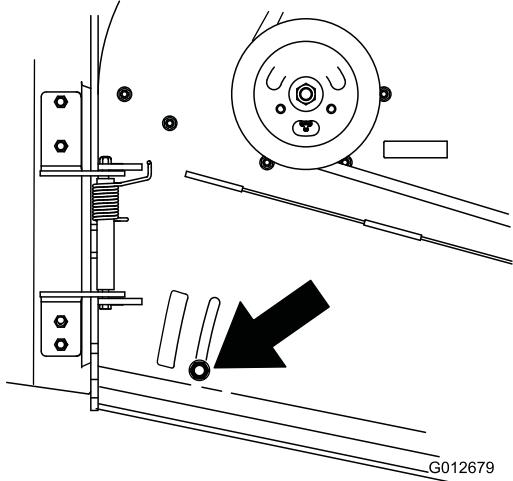


図 23

## 集草バッグにたまつた刈かすを捨てる

刈かすが入った集草バッグは非常に重い。刈かすが入った集草バッグの取り扱いには十分注意すること。

1. PTO を解除し、走行コントロールレバーをニュートラルロック位置にセットし、駐車ブレーキを掛ける。
2. エンジンを停止させ、キーを抜き取り、各部が完全に停止したのを確認してから運転位置を離れる。
3. バガーのラッチを外す。
4. バガーフードを開ける。
5. 刈かすをバッグの中にしっかりと押し込む。両手を使ってバッグを引っ張り上げバガーブラケットから外す。
6. バッグの下についている取っ手を握り、バッグを上下逆さまにして刈かすを捨てる図 25。

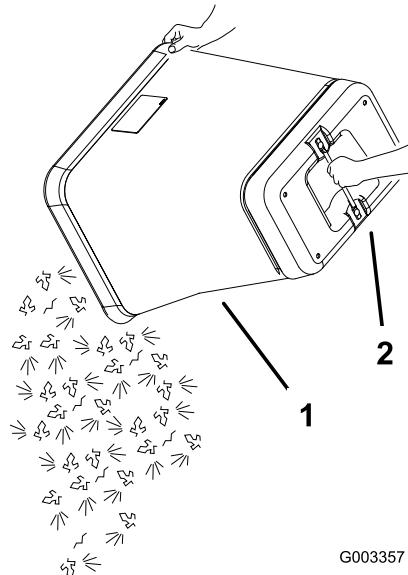


図 25

1. バッグ

2. 下部の取っ手

7. もう一方のバッグにも同じ作業をする。
8. バッグのタブをバガーサポートのフレームのノッチに掛ける。両方のバッグについてこれを行う。
9. バガーフードを下ろす。
10. バガーフードにラッチを掛ける。

1. 集草インジケータ

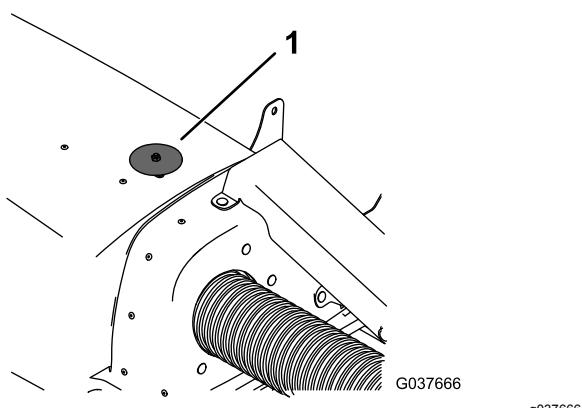


図 24

# バガーが詰まった場合の対処

## ▲ 警告

バガーが作動中はプロアが回転するので、これに手が触れると大けがをする可能性がある。

- ・ プロアの調整、清掃、修理、点検、およびシートの詰まりを取り除く前には、必ずエンジンを停止させ、機械の可動部がすべて完全に停止してから作業に掛かること。キーを抜き取る。
  - ・ シートやプロアチューブの詰まりの除去には必ず棒などを使用し、決して素手で行わない。
  - ・ 顔や手足や衣服を可動部に近づけないように十分注意し、カバーなどが付いていても過信しない。
1. PTO を解除し、走行コントロールレバーをニュートラルロック位置にセットし、駐車ブレーキを掛ける。
  2. エンジンを停止させ、キーを抜き取り、各部が完全に停止したのを確認してから運転位置を離れる。
  3. バッグを空にする。
  4. プロアからチューブを外す。
  5. バガーからチューブを外す。
  6. 棒などを使用して決して素手で行わないこと、チューブ内部の詰まりを除去する。

注 ほとんどの場合、チューブを搖すると詰まりは解消します。

7. チューブを取りつける。
8. プロアアセンブリが詰まっている場合には、ベルトカバーを外し、プロアアセンブリのラッチを外してアセンブリを開ける。
9. 棒などを使用して決して素手で行わないこと、プロアアセンブリ内部の詰まりを除去する。
10. 詰まりが除去できたら、プロアアセンブリを元通りに組み立て、ラッチで固定する。

## バガーの取り外し

## ▲ 警告

エンジン停止直後はエンジンの周囲の機器が高温になっている。高温部分に触れると大火傷をする恐れがある。

- ・ 高温時にはエンジンに触れないように注意すること。
- ・ バガーの取り外しはエンジンが十分に冷えてから行う。

## ▲ 注意

バガーアタッチメントを外したのに、前バガーウェイトを取り外さずに運転すると、車体が不安定となって制御できなくなる可能性がある。

バガーアタッチメントを外したら、必ず前バガーウェイトも取り外すこと。

1. PTO を解除し、走行コントロールレバーをニュートラルロック位置にセットし、駐車ブレーキを掛ける。
2. エンジンを停止させ、キーを抜き取り、各部が完全に停止したのを確認してから運転位置を離れる。
3. ステップ 7 バガーチューブを取りつける (ページ 12) から始まる取り付け手順を逆に行ってバガーを取り外す。
4. 組み立ての手順を逆に行ってバガーを取り外すプロアの取り付け手順を参照。

注 プロアアセンブリを取り外したら、必ず、前ウェイトを取り外し、デフレクタを取り付けてください。

## ▲ 危険

デフレクタや、排出カバー、または集草アセンブリを確実に取り付けずに使用すると、人がブレードに触れたり、ブレードに跳ね飛ばされたものが人に当たったりするなどして極めて危険である。回転中のブレードに触れたり、跳ね飛ばされた物に当たると、けがをするばかりでなく場合によっては死亡する。

- ・ バガーを取り外した場合には、必ずデフレクタを取り付け、側方排出モードにしてからマシンを使用する。
- ・ デフレクタが万一破損しているのを発見した場合には直ちに交換すること。デフレクタは刈かすなどの排出方向をターフに向けるための部品である。
- ・ 機械の下には絶対に手足を差し入れないこと。
- ・ 刈り込みデッキの排出部や刈り込みブレードの近くを清掃する時には必ずPTOをOFFにし、エンジンのキーをOFFにして抜き取る。

## 移動走行を行うとき

トレーラに積み込む前に、バガーフード後部にあるラッチが掛かっていることを確認してください。

## ▲ 危険

バガーに刈かすを入れたままで走行すると機体を破損させる恐れがあります。

移動走行時には必ずバガーを空にしておくことください。

# ヒント

## マシンのサイズ

このアタッチメントを取り付けると、刈り込み機械の長さ、幅、ともに大きくなることを十分認識しておいてください。狭い場所で急な旋回をしたりすると、アタッチメントや周囲の事物を破損させる可能性があります。

## トリミング

トリミングは、デッキの左側のみで行ってください。デッキの右側でトリミングすると、バガードのシートや排出口を破損させる可能性があります。

## 刈り込み高さ

最適な条件で集草できるように、デッキの刈高設定は51-76 mm以上にしないこと、あるいは、一回の刈り取り長さが草丈の1/3以上にならないようにすることどちらか小さい方の条件を採用することをお奨めします。これ以上の刈り取りを行うとバキューム効率が悪くなります。

## 刈り込み回数頻度

刈り込み作業はあまり日にちをあけずに特に成長期行いましょう。草が伸びすぎてしまった場合には2度に分けて刈り込みを行う必要があります [草丈が長い場合の集草\(ページ 17\)](#)を参照。

## 刈り込みのテクニック

刈り上がりをきれいに見せるためには、刈幅がすこし重なるようにして刈り込んで行くのがベストです。こうするとエンジンの負担も軽くなり、プロアアセンブリやチューブが詰まるようなトラブルも少なくなります。

## 集草速度

刈り込み速度が速すぎるあるいはエンジン速度が遅すぎるとバガードが詰まってしまう可能性があります。法面では、刈り込み速度を少し遅くしたほうが良い結果ができる場合があります。可能な場合は必ず上から下へ向かって刈ってください。

## ▲注意

バガードに刈りかすがたまるにつれてマシンの後部が重くなってしまいます。法面で上向きに停止したあとに急発進すると、機体の前部が浮き上がってハンドルが効かなくなる危険があります。

- 法面では急停止・急発進しないでください。登り発進を避けるようにしましょう。
- 上り坂で停止してしまった場合には、PTOを解除してください。そしてそのまま、ゆっくりと、バックで法面を下がってください。
- 法面では速度を変えたり停止したりしないでください。

## 草丈が長い場合の集草

草が伸びすぎてしまった場合や、芝生がぬれている場合には、通常よりも高い刈高で刈り込みを行って集草してください。そして、次に通常の刈高にセットしてももう一度刈り込み・集草してください。

非常に草丈が高くなると刈りかすが非常に重くなり、プロアの力でバガードに吹き込みできなくなります。こうなるとチューブやプロアが詰まりを起こします。これを避けるためには、まず高めの刈高で一度刈り込みを行い、次に通常の刈高に戻してもう一度刈り込むのがよいのです。

## 草がぬれている場合の集草

できれば、ぬれた芝の集草はやめ、芝が乾いているときに刈り込んでください。ぬれた芝草は詰まりを起こしがちです。

## 詰まりトラブルを減らすには

これを避けるためには、まず高めの刈高で、刈り込み速度を落として一度刈り込みを行い、次に通常の刈高に戻してもう一度刈り込むのがよいのです。

## 詰まりの兆候を知る

集草しながらの刈り込みでも、デッキの前部から少しの量の刈りかすが吹き出してくれるのが普通です。この吹き出し量が多い場合には、集草バッグが一杯であるか、プロアまたはチューブが詰まっている可能性があります。

## 集草ブレード

ほとんどの場合には、標準のハイリフトブレードが集草に最も相応しいブレードです。

乾いた状態での集草には、トロのアトミックブレードをお使いください。乾燥してほこりっぽい条件の場合には、ミディアムリフトまたはローリフトのブレードを集草強化キットと組み合わせて使うと、ほこりの舞い上がりを抑制しながらうまく集草することができます。

どのブレードを使うのが最も適切かについては、弊社代理店にご相談ください。

## 縁石の乗り越えとトラックなどへの積み込み

縁石の乗り越えやトラックなどへの積み込みを行う場合には、必ずデッキを一番高い位置にセットしてください。デッキを低い位置にセットしたままで縁石の乗り越え等を行うと、デッキを破損する恐れがあります。縁石の高さが 15.2cm を越える場合には、デッキを最高位置にした状態で縁石に対して鋭角に乗り越えを行ってください。トラックやトレーラに積み込む場合には十分に注意して作業を行ってください。

# 保守

## 推奨される定期整備作業

整備間隔	整備手順
使用開始後最初の 8 時間	<ul style="list-style-type: none"><li>バガーベルトを点検する。</li><li>バガーの点検を行う。</li></ul>
使用後毎回	<ul style="list-style-type: none"><li>バガー、バッグ、集草インジケータのインペラを洗浄する。</li></ul>
25 運転時間ごと	<ul style="list-style-type: none"><li>バガーベルトを点検する。</li><li>インペラアセンブリを点検する。</li></ul>
100 運転時間ごと	<ul style="list-style-type: none"><li>バガーの点検を行う。</li></ul>

## バガーとバッグの清掃

整備間隔: 使用後毎回

**注** バガーの清掃を行わないと、刈りかすが内部にこびりついてプロアハウジングやチューブが詰まります。

- バガーフード、バッグ、チューブの内側と外側、および集草インジケータのインペラと機体の底部を洗浄する。洗浄には自動車用の刺激性の少ない洗剤を使用する。
- 硬くこびりついている刈りかすを十分に除去すること。
- 洗浄が終わったら各部を十分に乾かす。

**注** 全部の部品を元通りに取り付けたら、マシンを数分間運転して機体を完全に乾燥させます。

## バガーベルトの点検

整備間隔: 使用開始後最初の 8 時間

25 運転時間ごと

ベルトに割れ、縁のほつれ、焼けなどの損傷がないか点検してください。破損したベルトは新しいものに交換してください。

## バガーベルトの交換

- PTO を解除し、走行コントロールレバーをニュートラルロック位置にセットし、駐車ブレーキを掛ける。
- エンジンを停止させ、キーを抜き取り、各部が完全に停止したのを確認してから運転位置を離れる。
- 刈り込みデッキを、一番低い設定位置まで降下させる。
- ベルトカバーのノブをゆるめてカバーを外す。
- プロアアセンブリを開けて、ベルトとプーリにアクセスできるようにする。

- スプリング付きのアイドラプーリを引っ張ってベルトのテンションを弱める図 26。

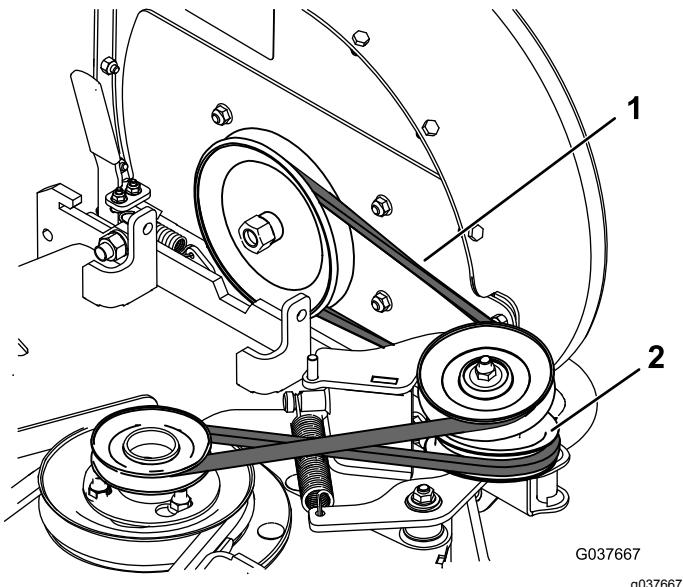


図 26

ベルトガードとプロアマウントは図示していない

- ベルト
- スプリング付きアイドラプーリ

- プロアアセンブリからプーリを取り外す図 27。

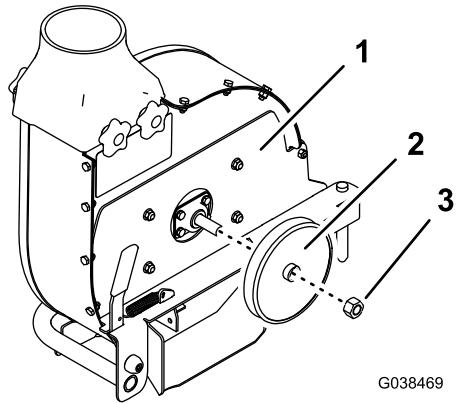


図 27

G038469

## 刈り込みブレードの点検

- 刈り込みブレードは定期的に点検し、また、異物に当たった場合には直ちに点検する。
- ブレードがひどく磨耗していたり破損している場合には新しいものに交換する。ブレードの整備の詳細については、マシンのオペレーターズマニュアルを参照。

## 刈り込みブレードの取り付け

ほとんどの場合には、標準のハイリフトブレードが集草に最も相応しいブレードです。

乾いた状態での集草には、トロのアトミックブレードをお使いください。乾燥してほこりっぽい条件の場合は、ミディアムリフトまたはローリフトのブレードを使うとほこりの舞い上がりを抑制しながらうまく集草することができます。

どのブレードを使うのが最も適切かについては、弊社代理店にご相談ください。

ブレードの取り付けの詳細は、刈り込み機械のオペレーターズマニュアルを参照。

- 1. ブロアアセンブリ
- 2. プーリ
- 3. 六角ナット
- 8. 刈り込みデッキとブロアアセンブリから古くなったバガーベルトを取り外す。
- 9. 図 26 のように、ベルトをブロアとアイドラブリに取り付ける。
- 10. プーリを取り付けてベルトを掛ける。
- 11. ブロアアセンブリを閉じて、ラッチが掛けたことを確認する。

## バガーの点検

**整備間隔:** 100運転時間ごと

使用開始後最初の 8 時間

- PTO を解除し、走行コントロールレバーをニュートラルロック位置にセットし、駐車ブレーキを掛ける。
- エンジンを停止させ、キーを抜き取り、各部が完全に停止したのを確認してから運転位置を離れる。
- 上チューブ、下チューブ、バガーフード、ブロアアセンブリを点検する。これらが破れていれば交換してください。
- バッグ、バガーフレーム、スクリーンを点検する。これらが破れていれば交換してください。
- 機体各部のゆるみを点検し、必要な締め付けや交換、修理を行う。

# 保管

1. バガーアタッチメントを洗浄する バガーとバッグの清掃 (ページ 19)を参照。
2. バガーアタッチメントに破損がないか点検する。バガーの点検 (ページ 20)を参照してください。
3. バッグが空であること、また完全に乾いていることを確認する。
4. ベルトに磨耗や割れが発生していないか点検する。
5. マシンの格納は、汚れていない乾燥した、直射日光の当たらない場所で行う。屋外で保管しなければならない場合には、防水カバーを掛ける。カバーを掛けことによりプラスチックの寿命を延ばすことができる。

# 故障探究

問題	考えられる原因	対策
異常に振動する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>ブレードが曲がっているバランスが悪い。</li> <li>ブレード取り付けボルトがゆるい。</li> <li>プロアのブーリまたはブーリーセンブリがゆるい。</li> <li>バガーベルトが摩耗している。</li> <li>プロアのファンブレードが曲がっているかバランスが悪い。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>ブレードを交換する。</li> <li>取り付けボルトを締め付ける。</li> <li>ブーリを締め付ける。</li> <li>ベルトを交換する。</li> <li>代理店に連絡する。</li> </ol>
集草能力が不足している。	<ol style="list-style-type: none"> <li>エンジン速度が低い。</li> <li>バガーフードのスクリーンが詰まりを起こしている。</li> <li>バガーベルトがゆるんでいる。</li> <li>プロアやチューブが詰まっている。</li> <li>バッグが一杯になっている。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>エンジンは常に全開で使用する。</li> <li>スクリーンを清掃して汚れを除去する。</li> <li>バガーベルトを交換する。</li> <li>詰まりを除去する。</li> <li>バッグを空にする。</li> </ol>
プロアやチューブが何度も詰まる。	<ol style="list-style-type: none"> <li>バッグが一杯になっている。</li> <li>エンジン速度が低い。</li> <li>草がぬれています。</li> <li>草が伸びすぎている。</li> <li>バガーフードのスクリーンが詰まりを起こしている。</li> <li>走行速度が速すぎる。</li> <li>バガーベルトが摩耗している。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>まめにバッグを空にする。</li> <li>エンジンは常に全開で使用する。</li> <li>乾いているときに刈り込む。</li> <li>一回の刈り込みでの刈り取り長さを、51-76 mm または草丈の 1/3 以下どちらか小さい方に制限する。</li> <li>スクリーンを清掃して汚れを除去する。</li> <li>フルスロットルでゆっくり作業する。</li> <li>ベルトを交換する。</li> </ol>
刈りかすがふきだしてくる。	<ol style="list-style-type: none"> <li>バッグが一杯になっている。</li> <li>走行速度が速すぎる。</li> <li>刈り込みデッキの水平調整が悪い。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>まめにバッグを空にする。</li> <li>フルスロットルでゆっくり作業する。</li> <li>デッキの水平調整についてはオペレーターズマニュアルを参照する。</li> </ol>
プロアのインペラが自由に回転しない。	<ol style="list-style-type: none"> <li>プロアーセンブリに何らかの障害がある。</li> <li>インペラの心がずれているなど。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>プロアのインペラ部分を清掃して汚れを除去する。</li> <li>代理店に連絡する。</li> </ol>

# 組込宣言書

The Toro Company, 8111 Lyndale Ave. South, Bloomington, MN, USA は、以下に挙げるユニットが、以下に列挙する指令に適合していることをここに宣言しますただし、各ユニットに付属する説明書にしたがって、「適合宣誓書」に記述されている所定のトロ社製品に取り付けることを条件とします。

モデル番号	シリアル番号	製品の説明	請求書の内容	概要	指示
78570	400010798 以上	2016年以降のグランドスタンド 芝刈機用E-Z Vac ツインバガー	GRANDSTAND E-Z VAC BAGGER	バガー	2006/42/EC

2006/42/EC別紙VIIパートBの規定に従って関連技術文書が作成されています。

本製品は、半完成品状態の製品であり、国の規制当局の要求があった場合には、弊社より関連情報を送付いたします。ただし、送付方法は電子的通信手段によるものとします。

この製品は、製品に付随する「規格適合証明書」に記載されている承認済みのトロ社製品に取り付けることによって、関連する諸規制に適合するものであり、そのような状態でなければ使用することができません。

確認済み



John Hurst  
上級エンジニアリングマネージャ  
8111 Lyndale Ave. South  
Bloomington, MN 55420, USA  
October 5, 2017

権限を有する代表者

Marcel Dutrieux  
Manager European Product Integrity  
Toro Europe NV  
Nijverheidsstraat 5  
2260 Oevel  
Belgium

Tel. +32 16 386 659



## トロの品質保証

ランドスケープ  
管理請負業務用  
専門機器LCE

### 保証条件および保証製品

Toro 社およびその関連会社である Toro ワンティー社は、両社の合意に基づき、以下に挙げる Toro 社製品に材質上または製造上の欠陥が発見された場合には、無償修理を行うことを約束します。

最初にお買い上げの日から起算して以下の期間について、保証を行います

製品	保証期間
歩行型芝刈機	
53cm デッキ – 住宅用 <sup>1</sup>	2 年間
53cm デッキ – 業務用	1 年間
76cm デッキ – 住宅用 <sup>1</sup>	2 年間
76cm デッキ – 業務用	1 年間
ミッドサイズ歩行式芝刈機	2 年間
・エンジン	2 年間 <sup>2</sup>
Grand Stand® モア	5 年間または 1,200 運転時間 <sup>3</sup>
・エンジン	2 年間
Z Master® 2000 シリーズ芝刈り機	4 年間または 500 運転時間 <sup>3</sup>
・エンジン	2 年間 <sup>2</sup>
Z Master® 3000 シリーズ芝刈り機	5 年間または 1,200 運転時間 <sup>3</sup>
・エンジン	2 年間 <sup>2</sup>
Z Master® 5000 および 6000 シリーズ芝刈り機	5 年間または 1,200 運転時間 <sup>3</sup>
・エンジン	2 年間 <sup>2</sup>
Z Master® 7000 シリーズ芝刈り機	5 年間または 1,200 運転時間 <sup>3</sup>
・エンジン	2 年間 <sup>2</sup>
Z Master® 8000 シリーズ芝刈り機	3 年間または 1,200 運転時間 <sup>2</sup>
・エンジン	2 年間 <sup>2</sup>
タイタン HD モアとエンジン	4 年間または 500 運転時間 <sup>3</sup>
すべての芝刈り機	
・バッテリー	2 年間
・アタッチメント	2 年間

<sup>1</sup>通常の住宅環境とは、自宅敷地内にて使用することを指します。1箇所より多い現場での使用は業務用使用となり、業務用製品の保証が適用されます。

<sup>2</sup>トロの LCE 製品では、エンジンの保証をエンジンメーカーが行っているものがあります。

<sup>3</sup>いずれか早く到達した時期まで。

修理に必要となる部品代金および作業代金は本保証に含まれますが、機械の搬送費用はお客様のご負担となります。

### 保証請求手続き

お客様が所有する製品に材質上または製造上の欠陥が存在すると思われた場合には、以下の手続きを行ってください

- 販売店に対して保証修理を依頼してください。販売店に連絡できない場合には、弊社正規代理店へご連絡ください。お近くのディーラーを探すには、<http://www.toro.com/>をご利用ください。
- ご購入の日を証明する書類レシートとともに、サービスディーラーの修理工場に製品をお送りください。
- 代理店の保証内容にご満足いただけない場合は弊社にご連絡ください

Toro Warranty Company  
8111 Lyndale Avenue South  
Bloomington, MN 55420-1196  
001-952-948-4707

### オーナーの責任

製品の持ち主は、その製品のオペレーターズマニュアルに従って製品の整備を行う責任があります。これらの保守作業は代理店またはご本人が行なうことができますが、費用はお客様のご負担となります。

### 保証の対象とならない場合

排ガス保証やエンジン保証付きの製品以外は、上記に挙げた保証が製品保証のすべてとなります。以下に挙げるものは、この保証の対象とはなりません

- 通常の保守整備にかかる費用や部品の代金たとえば、フィルタ、燃料、潤滑剤、オイル交換費用、点火プラグ、エアフィルタ、ブレードの研磨費用や交換費用、ケーブルやリンクの調整費用、ブレーキやクラッチの調整費用などがこれにあたります。
- 通常の使用によって磨耗して寿命がくる部品等
- 改造、誤使用、整備不良、過失などが原因で修理や交換が必要になった製品や部品
- 製品の引き取りや配達に伴う費用。
- 弊社正規代理店以外の業者による修理や分解操作など
- 弊社が推奨する適正燃料を使用しなかったことが原因で起こった不具合の修理詳細についてはオペレーターズマニュアルをご参照ください
  - 燃料系統が汚染された場合の汚染除去は本保証には含まれません
  - 古くなった燃料購入後一ヶ月以上を経過しているものや、エタノールを10%以上またはMTBEを15%以上含有する燃料の使用
  - 不使用期間が一ヶ月を超える場合に燃料タンクから燃料を抜き取らなかったことを原因とする不具合

### その他

ご購入者様は、居住国の法律により保護されています。本保証は、これらの法律によって保護されるご購入者の権利を制限するものではありません。